

令和3年度第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年10月15日（金）14:30～16:40

2 場所 湖南高等学校 図書室

3 参加者

委員（敬称略・順不同）

小山 伝一郎、佐藤 忠男、石田 慶仁、大内 紀男、満田 仁一、鈴木 勝美、
和田 祐樹、阿部 洋平、二瓶 正仁、酒井 祐治

事務局

渡辺 延幸、遠藤 潤、木村 清志、高柴 有一、森 修、五十嵐 稜、大山 洋子

4 内容

◎講演会 14:30～16:10

『故郷と魅力、そして次の世代へ～観光という名のまちづくり～』②

合同会社 FRONTLINE 代表 東京国際大学講師 前 好光 氏

※生徒14名参加（湖南小中学校出身の1-2年生：5名、地域探究部（そば部）：9名）

（1）前回講義の振り返り

- ・人が減っている
- ・観光が騒がれている
- ・観光を分解しよう
- ・提案にかえて

（2）2030年予想マップを作ろう

●高校生チーム

～観光客を呼ぶためにはどうしたらいいか？自分たちが欲しいと思うものを妄想

●大人チーム

～今のままだと湖南の町の中がどんな風に変化するか予想

（3）大作戦を始めよう

- ・開発業者の誘致、リゾート地づくり
- ・布引高原をイルミネーション、廃校利用の宿泊施設
- ・特色ある小中高校、古民家再生、イベント等で子育て世代のIターン狙い
- ・バイパスに道の駅、湖南高校生により蕎麦の振舞い
- ・湖南高校～外部からの学生・生徒を受け入れ（全寮制）

◎学校運営協議会 16:20～

(1) 開会のことば 満田 仁一副会長

(2) 会長あいさつ 小山 伝一郎会長

先ほどの講演会では、「夢を追いかけてやればできる」との言葉が印象に残っています。孫のような年齢の生徒さんたちと一緒にこのような意見交換ができ、講演会がとても有意義で勉強になりました。引き続き協議会もよろしく申し上げます。

(3) 校長あいさつ 酒井 祐治校長

本日の講演会のように、委員の方々と生徒が一緒になってワークショップや学校づくりを行うことができるようになることがコミュニティスクールの最終的な目的かと思います。

今年度は湖南小中学校の生徒と本校生が合同で湖岸清掃を行いました。来年度以降も合同湖岸清掃を続けていきたいと思っています。また、湖南小中学校の9年生が上級学校訪問として本校を訪れ、本校生徒と一緒に授業をうけたり、蕎麦打ち体験をしたりしました。地元湖南町にある学校ということで、今後も小中高が連携をとりながら地元のために活動できたらと考えています。

(4) 報告

①学校からの報告

●6次産業化『蕎麦プロジェクト』

・6次化商品

蕎麦粉を使った団子やケーキのレシピを地元の方に協力していただきながら作成している。今後はイベントで提供できるようにしたい。

・古民家再生

リノベーションの最終局面に入っている。先日は日大工学部の有志学生にご協力いただき、情報発信拠点として使用するためのテーブルを作成した。今後は自分たちで椅子や調度品を作成していく。年明けの1・2月に6次化商品を販売するイベントを企画している。

※蕎麦プロジェクト本来の、蕎麦の栽培や生育観察に関しては予定通りに進んでおり先週の金曜日に収穫を行った。今年は天候にも恵まれ昨年よりも多くのそばの実が収穫できた。委員の方々には蕎麦打ちにご参加願いたい。

●湖南高校応援隊『ここおた』

・R294 若宮地区里山再生プロジェクト

猪苗代湖秋山浜の三宅さんにご協力いただき、菜の花の種まきをした。今後は、本校生と三宅さんが一緒になって若宮地区の里山再生と菜種油の6次化、魅力化を進めていきたい。

・就職希望者面接指導

学校運営協議会長の小山さん、同委員の大内さん、株式会社渡富建設代表取締役の渡部さん、会津バス郡山湖南営業所長の薄さんにご協力いただいた。厳しいながらも優しい面接指導、教員の立場では見えないところや細かいアドバイスまでいただいた。緊張した臨場感のある中で、試験直前の指導をしていただきとても感謝している。ぜひ、来年度以降もご指導、

ご協力を賜りたい。

- ・福良盆踊り和太鼓練習

福良盆踊り保存会の椎谷さんと宗像さんにご協力いただいている。旧福良小学校体育館で地域の盆踊りの和太鼓練習をしている。市内中学校出身の生徒らも楽しく練習している。

- ・郷土料理を学ぶ

現在のところ3回実施した。1回目は「ちまきづくり」、2回目は「味噌揚げづくり」、3回目は「たけのこ汁と山菜おこわづくり」。

- ・一般社団法人全麺協主催の初段位技能審査郡山認定会

明日、そば部の生徒3名と校長を中心とした教員3名が認定試験を受ける。学校運営協議会委員で同窓会会長の桑名さん、大島そば同好会の方々にご協力いただいた。

- ・震災防災教育

1, 3年生が1泊2日で伝承館と磐梯青少年交流の家でのワークショップなどを行う。地元在住福島県キャンプ協会の方々にご協力をいただく予定。

- ・湖南民話プロジェクト

11月12日に湖南伝承会の西田さんをお迎えして民話を語っていただき、生徒は語り部体験をした。最終的には、湖南民話の紙芝居や指人形を古民家で発表することを検討中。

- 学校行事の連携『イベントに行ったり来たりしませんか』

- ・GAP蕎麦リレー

同窓会会長の桑名さんが蕎麦のGAP認証をうけ、そのイベントにそば部の生徒が福島市のコラッセ福島において参加、活動した。

- ・湖南小中学校との合同湖岸清掃

3年越しの行事になる。昨年度はコロナ禍でできなかったが、職員間の連携を密にとりながら、今年度は猪苗代湖の6つの浜を一緒に清掃した。

- 湖南地域のホームステイ制度を考えるワーキンググループ

引き続き湖南地域のホームステイ制度を検討していく。

- ②その他

(5) 閉会のことば 満田 仁一副会長

- ※ 諸連絡 (遠藤教頭)

次回、第4回は12月8日です。よろしく願いいたします。

(16:30 終了)